

緑の分権改革 湖南省提案

『環境・福祉連携によるこにゃん支え合いプロジェクト』について

H23.10月

総務部企画・まちづくり課

■ 緑の分権改革とは？

○ 概要

・総務省が平成21年度からスタートした事業。豊富な自然環境や再生可能エネルギー等の地域資源を最大限に活用し、域内循環率を高める仕組みを創り上げることにより、地域の自給力と創富力（富を生み出す力）を高めていく取組として「緑の分権改革」を推進している。

○ 経過

・平成23年5月11日～6月15日までの間、提案募集がなされ、湖南省から提案を行ったところ、全国からの提案171件に対し、外部評価者による評価が行われ、委託候補先32件のうちの一つに採択された。(2,016万円)

■ 実証に取り組もうとする改革モデル実証調査（プロジェクト）概要

- ◇ 「コナン市民共同発電プロジェクト」：高い環境・福祉意識を活かした市民共同発電所の開設（太陽光発電による市民共同発電所の復活、地域ポイント制・ファン্ড造成等の導入による地域福祉の充実・地域経済の活性化の検討・検証）
- ◇ 「アールブリュット福祉ツーリズムプロジェクト」：世界一流の障がい者アートを活かしたバリアフリー観光の展開（市内の遊休施設の活用によるアールブリュット展の開催・普及啓発、湖南三山との連携による観光客の誘致、地元子どもたちと大学生との体験交流イベント実施による環境・福祉教育の推進）
- ◇ 「コミュニティ・ルネッサンス・プロジェクト」：地域の特産品を活かしたこにゃんブランドの創出（まちづくり協議会など地域住民と共に、伝統家庭料理や下田なす・弥平とうがらしなど地域食材の活用による特産品の開発、ご当地グルメの開発や地産地消の仕組みづくりの検討・検証）

■ 推進体制

○ 「こにゃん支え合いプロジェクト推進協議会」

・障がい者団体、社会福祉協議会、まちづくり協議会、NPO、工業会、商工会、観光物産協会、学識経験者、農業関係者など多様な主体と共に、協議会を結成。各プロジェクトでワーキングチームを設置して事業を実施。

・同協議会において、改革モデルの成果を継承し、事業運営を継続していくための支援基盤ネットワークとして、中長期的な連絡・調整・協議等を行う。

平成23年8月2日

「緑の分権改革」調査事業に関する委託先候補の決定

総務省では、豊富な自然環境や再生可能エネルギー等の地域資源を最大限に活用し、域内循環率を高める仕組みを創り上げることにより、地域の自給力と創富力（富を生み出す力）を高めていく取組として「緑の分権改革」を推進しており、平成23年5月11日から6月15日までの間、地方公共団体に対して標記調査事業に係る提案募集を行ったところです。

このたび、外部評価者による提案内容の評価を行い、その評価を参考に委託先候補を決定しましたので、お知らせします。

1 事業の概要

「緑の分権改革」のモデルとなる具体的取組について、実証的な調査を行い、その成果及び課題を他地域に還元することとしており、このような趣旨に沿った都道府県又は市町村の取組について委託するものです。

2 提案募集の結果

提案募集に対して171件の提案があり、外部評価者（別紙1）による提案内容の評価を行い、その評価を参考にして、委託先候補32件を決定しました（別紙2）。

連絡先：地域力創造グループ緑の分権改革推進室
担当：江口、池田
電話：03-5253-5523（直通）
FAX：03-5253-5587
MAIL：chisei@soumu.go.jp